



かわしま

mail:y3kawash@edu.city.yokohama.jp

http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawashima/

学校だより 11月号
平成19年10月29日
横浜市立川島小学校
校長 小池 慎一
TEL 371-0757
FAX 381-7248

あき かん 秋を感じて

学校長 小池 慎一

川島小学校を訪れる方の方のほとんどの方が最初のひと言で「自然にあふれていていいですね。」とおっしゃられます。確かに学校のまわりには、木々が繁り、自然に囲まれているという実感があります。季節は秋。自然の織りなす変化の美しさを、子どもたちにも感じとらせたいと思います。

さて、新聞やテレビ報道などでもとりあげられましたが、4月に文部科学省が実施した全国学習状況調査の結果が、10月24日(木)発表されました。現在、本校でもその調査結果と本校のデータとをつきあわせ、今後の指導改善に向けた分析作業を行っているところです。同時に実施された「生活・学習意識調査結果」の中で見えてきた特徴の一つとして、本校の児童(6年生)は、自然からの恵みはしっかりと受けとめることができているようなのですが、一方で、地域行事や清掃活動への参加意識が、全国や県と比較して、やや弱いのではないかと思われる面もみられました。こんなに自然に囲まれた「地域」にいるのにもかかわらず、少々さびしい思いがしました。

学校の教育課程の中でも、例えば生活科や社会科、総合的な学習の時間などを中心に、全ての学年の教科学習の中で、自分たちの住んでいる地域とのつながりについての学習場面があります。

それだけではなく、10月7日(日)に開かれた、保土ヶ谷区制80周年記念式典で、本校が「区の木」制定に向け、全校的な取り組みをしたということで、学校を代表して6年生児童2名が区の高木：シイノキ、低木：ハナモモ)の授与を受けました。【別ページに、参加した児童の感想を掲載しました。】本校の子どもたち全員が、保土ヶ谷区という自分たちの住んでいる地域の木を決めることに参加したことは、とても意味のあることだと私は思っています。

本校は2年前に創立130周年を迎えましたが、その一連の行事の中でも、「この学校が地域によって作られ、支えられ、見守られてきた」ということを、子どもたちはおそらく学んでいると思います。頭の中だけの理解でなく、こうした活動を継続し、具体的な行動に表していくことで、自然豊かな環境の中で、自然を大切にする心や地域に貢献する態度を育てることにつながっていくことになると考えています。